

H29.11.16

複合災害を学ぶ！

東京理科大

— 二瓶教授を招いて勉強会を開催 —

福井河川国道事務所

昭和23年6月28日に発生した福井地震。

実は、福井地震から1ヶ月後の7月には豪雨により九頭竜川堤防が破堤。福井市とその周辺は、地震による災害に加え洪水により甚大な被害を受けました。

日本で最初に確認された“複合災害”から来年は70年！

福井河川国道事務所は、東京理科大学の二瓶教授をお招きして複合災害としての福井地震とその後の水害を学ぶための勉強会を開催しました。

勉強会には、NHK福井放送局、福井新聞社からも参加していただきました。

日本で最初に確認された複合災害から我々は何を学ぶのか、熱心な議論を行いました。

概要

日時：平成29年11月16日（木）15:00~17:00

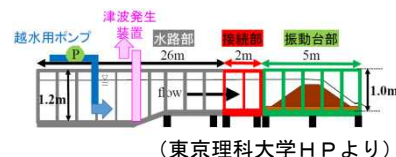
場所：福井河川国道事務所 第二会議室

参加人数：24名

参加者：福井河川国道事務所、
NHK福井放送局、福井新聞社



東京理科大学では、地震と洪水の複合災害を再現できる実験水路で堤防の決壊状況を調べる実験を行っています。



勉強会の様子

二瓶教授（→）
講義の様子（↓）



NHK福井放送局、
福井新聞社との
意見交換



勉強会に先立ち、
福井地震後の水害で破堤し
た九頭竜川堤防などを視察

参加者の感想

70年前の福井地震を再現できれば、今まで判らなかった堤防への地震の影響が判るかも。期待しています。

問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 河川管理第一課
〒918-8015 福井市花堂南2-14-7 TEL 0776-35-2661

